

令和5年度 堺東高等学校

第3回 学校運営協議会

ご提言・ご意見のまとめ

令和5年度 堺東高等学校第3回学校運営協議会が、1月25日に開催されました。第3回の協議事項は、「今年度の学校経営計画における取組の結果報告について」と「来年度学校運営の基本的な方針の承認について」です。また、学年や各分掌からの報告を文章にまとめて資料としました。今回の議事内容について以下のようにまとめました。

協議会委員

| | |
|--------|------------------------|
| 西川 隆蔵 | 帝塚山学院大学 学長 |
| 上川 紀久恵 | 堺市立晴美台中学校 校長 |
| 遠藤 真砂美 | 晴美台1丁北自治会 晴美台校区民生児童委員長 |
| 森 繁樹 | 本校同窓会 会長 |
| 夏秋 香織 | 本校PTA 会長 |
| 逢阪 昌也 | (株)ベネッセコーポレーション |

事務局

校長 教頭 事務長 首席 企画委員

【次第】

- (1) 校長挨拶
- (2) 今年度「学校経営計画」における取組の結果報告について
- (3) 来年度「学校運営の基本的な方針」の承認について
- (4) 協議(質疑応答)

はじめに

《教頭より》

本日は、ご多用のなか、令和5年度第3回大阪府立堺東高等学校学校運営協議会にご参加いただき、ありがとうございます。本日、司会を務めます本校教頭の八倉です。よろしく願いいたします。開会に先立ち、校長より一言申し上げます。

《校長より》

学校運営協議会の委員長を務めて頂いておりました、帝塚山学院大学の学長様におかれましては、昨年ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げますとともに、これまでのご協力に感謝を申し上げます。本日より帝塚山学院大学の西川学長にご参加いただきます。

(学校運営協議会 西川様)

昨年11月に前学長が急逝いたしまして、本年1月より学長となりました。堺東高等学校の学校運営協議会に参加いたします。よろしく願いいたします。

《教頭より》

資料の確認をさせていただきます。ぬげやもれがないかご確認ください。不備がありましたらお申し出ください。それでは開会いたします。はじめに本校校長、木村よりご挨拶申し上げます。

【校長あいさつ】

《校長より》

まず初めに1月1日に発生しました、令和6年能登半島地震において犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。皆様方、本日は大変お忙しいなかお集まりいただきまして本当にありがとうございます。年度当初に策定し、第1回学校運営協議会でご説明しました学校経営計画についてご報告申し上げます。そして、その課題等を踏まえて来年度の学校経営計画を策定することとし、その中の「学校運営に関する基本的な方針」の部分についてご承認をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【協議事項 今年度「学校経営計画」における取組の結果報告について】

《校長より》

学校経営計画について、ポイントを説明させていただきます。最初に、今後3年間を見据えた中期的目標の達成状況についてです。

「授業充実・授業改善」では、授業アンケートを評価指標として3年後までに90%以上という目標を掲げたところ、今年度の生徒肯定率が90%となりましたので、おおむね達成していると判断いたしました。

「相手に自分の考えを伝える能力の向上」については、3年生を対象とした総合学科アンケートを評価指標としました。3年間で80%の達成を目標としていますが、過去3年間で65%・76%・78%と推移しており、おおむね達成しつつあると判断しています。

「基礎学力の定着」については、毎年度実施している学力生活実態調査を判断指標にしています。子供たちの学習状況について、今年度は1年生がB2、2年生がB3レベルに達しており、昨年にくらべて、それぞれ1階級ずつ上がっています。

「自ら学ぶ意欲・姿勢の涵養」では、学校教育自己診断の複数項目で肯定率が80%以上となっており、一定のレベルに達していると、自己評価をさせていただきました。

「教員の人権意識の向上」では、教員の自己評価で校内研修充実度が85%です。教員の色々なニーズや生徒の実態に合わせて、講師をお招きしており、評価が高く出ていると考えています。

「生徒の規範意識の醸成」については、「生活指導上のルールを守っている」という生徒自身の自己評価で97%が肯定的であり、高く評価いたしました。

「キャリア教育の充実」では、学校教育自己診断におけるキャリア教育にかかる満足度が95%になっており、過去3年間をみても大きく上がりました。

「選択した科目で自分の進路選択に繋がるものが十分にあった」というアンケート項目では、肯定的評価が81%であり昨年よりも下回ってしまいました。この理由や分析、今後に向けては後ほどお話をさせていただきます。

「部活動の充実」については、コロナ禍など様々な要因により入部率が下がってしまいました。今年度はまだ65%でしたが、3年次生を除くと75%であり、これから入部率を伸ばしていきたいと思っています。

「学校行事への参加」は、文化祭・体育祭はともに非常に高い満足度でした。これは、生徒自身で企画・運営できた、ということで生徒の達成感が高い、また生徒が楽しめるかという視点にたった教員側の運営を行えた点が反映されたのだと思っております。

「生徒の対外活動の活発化」については、「自主性を伸ばすことができた」という3年生の評価が、昨年よりも下がってしまいましたので、ここについては課題認識を持っています。

「開かれた学校づくりの推進と情報の発信」については、令和7年度に達成すべき目標を今年度で達成できています。

以上が中期的目標における数値目標の達成状況です。今の課題を踏まえて、これからどうしていきたいかということについては、職員会議で教員に示しております。学校教育自己診断の生徒、保護者、教職員のそれぞれの評価や課題を踏まえて、来年度の計画を各分掌で立てる予定です。資料にしていますので、お時間があるときにご覧いただければと思います。

次に、今年度の重点目標についてご説明いたします。

「主体的、対話的で深い学び ICTを活用した授業改善 学びの保障」では、授業アンケートの「教材活用」における肯定的評価が90%以上、学校教育自己診断「授業の工夫」の肯定率93%以上を目標としていますが、授業アンケート「教材活用」の肯定率が90%以上、学校教育自己診断「授業の工夫」の肯定率が93%となりました。

「相手に自分の考えを伝える能力の向上」では、総合的な探究の時間等を通じ、夢の追求、共生、SDGsの学びと取組、課題研究へと切れ目のない学びと成長の過程を経て、自らの意見をプレゼンテーションできる力を育む授業を実施できました。総合学科アンケートでは「コミュニケーション能力が身についた」の肯定率が79%に達しました。

「基礎学力の定着と自ら学ぶ意欲・姿勢の涵養」では、日常の課題に加え、夏休み前の「ガシドリ」の実施により、基礎学力の底上げ・定着を図りました。学校教育自己診断のアンケート項目「授業態度が良い」が88%、「授業は理解できた」が78%、「授業が分からない時、理解できるよう行動した」92%とあり、生徒たちは高い水準で努力しています。

「人権教育の推進、「ともに学びともに育つ」教育のさらなる推進」についてです。本校には自立支援コースが設置されていますが、理科・社会・保健体育・芸術・家庭・情報の6教科、及び、総合的な探究の時間、HR活動、学校行事等を一般選抜生と同じ教室で学び、活動しています。また、堺支援学校高等部との交流会を2回実施いたしました。なお12月の交流会は感染症流行のためオンラインで実施しています。

「いじめ防止 仲間づくり」では、いじめ防止基本方針を改訂して職員会議で確認しました。また、年間計画通り、いじめ対策委員会を開催して、情報共有を行っています。学校教育自己診断における「いじめ対応」肯定率は89%、「学校へ行くのが楽しい」肯定率79%となりました。生徒主体の学校行事の実施など、仲間とともに充実した学校生活を送ることができるよう取り組んでいます。

「合理的配慮への取組み」についても、自立支援コース生を対象に、保護者交流会や関係団体を交えた進路懇談会を開催しました。目標通り、計画通りに実行できたと考えています。

「自立支援コースの成果の府内での共有」についてです。堺東高校は、支援が必要な生徒に対しての先生方の様々な対応へのアドバイスをする支援教育充実事業サポート校の指定を受けています。府内の様々な学校に本校教員が出向いて相談に答えることや、当該校の先生が来校されるといった形で、公立・私立含めて11校32件の相談に対応しました。各校の支援教育コーディネーターの連絡会を3回、担当者会議を2回、教職員研修を年間3回実施しました。

「教員の人権感覚や人権意識の高揚」については、教職員による学校教育自己診断で「人権教育の校内研修や学習会は充実している」が肯定率は大きく上昇して85%となり、学校教育自己診断の「担任以外で相談できる先生がいる」は肯定率59%に上昇しました。

「生徒の規範意識の醸成」では、学校教育自己診断の「生徒指導上のルールを守っている」についての肯定的評価を出した生徒が97%でした。

「通学路の安全確保」では、現状について地域自治会と情報共有し、地元市議員へも申し入れを行っています。

「働き方改革の推進」ではICTを活用した働き方改革について、昨年度よりは少し改善したという評価があります。

「キャリア教育の充実 系統立てたキャリア教育の推進」については、アンケート項目の「選択した科目で進路につながるものが十分あった」というところが、評価指標に到達しませんでした。キャリア教育をさらに充実をさせて、少しでも早く子どもたちが自分の進路目標を立てることができるようサポートすることが必要であると考えています。2年次・3年次に生徒が選択する科目と、めざす進路希望との親和性を高められれば生徒の不満点の解消につながると思っています。希望者があまりに少ない科目を開講するという事はなかなか難しいのですが、可能な範囲で実現することも改善に向けての道筋とっております。

「部活動の充実と学校行事への積極的な参加」についてです。今朝、生徒会執行部の生徒が来年度の体育大会に向けて実行委員を募る呼びかけをしてきていました。学校行事を楽しいものするための活動を我々教員がしっかりと支えて楽しい学校を作り上げていきたいと思っています。残念ながらアンケート項目の「自主性を伸ばすことが出来た」の肯定率は78%で目標を達成することが出来ませんでした。またクラブ活動の加入率も目標に達していません。3年生はコロナ禍の影響で自主的な活動を大きく制約された学年である、ということが要因として考えられます。今後、ホームページやブログによってクラブの活動状況や成

果をどんどん発信して魅力をアピールしていきたいと思っています。また、学校行事を中心に、総合的な探究の時間での発信・発表といったことも含めて、自主性を伸ばしていくような取り組みを進めていかなければいけないと思っています。

以上が、今年度の学校経営計画の実施状況となります。

続きまして、令和6年度学校経営計画策定にあたっての改正点についてご説明いたします。

スライド資料をご覧ください。これまでご説明いたしました学校経営計画の実施状況や評価・課題を踏まえて変更・修正を加えなければなりません。また、大阪府教育委員会による「府立学校に対する指示事項」の重点項目を踏まえて経営計画を策定するよう、という指示があります。この2点を踏まえての改正です。

最初にめざす学校像についてです。第2回学校運営協議会で、スクールポリシーをご紹介させていただきました。スクールポリシーの1つであるグラデュエーションポリシーに、「チャレンジ精神を持つ、主体的な行動力がある」という内容がありました。これをうけて今年度までは「時代の変化に対応できる人」という記載だけだったものを、「3. チャレンジ精神や主体的な行動力を持ち、時代の変化に対応できる人」に変更します。同じくグラデュエーションポリシーの「人を思いやり、人のために行動できる豊かな心」という内容にもとづいて、「5. 人を思いやり、人のために行動できる豊かな心を持ち、感性・創造性豊かな人」としました。また、カリキュラムポリシーの中で「主体的に進路を選択するための充実したガイダンスを提供」とあります。本校の生徒の実態や、様々な生徒・保護者の意見を踏まえても、たくさんの選択科目から、将来のことを考えて自分にあった科目をしっかりと選択できるようにするためには進路ガイダンスが必要です。ですので、めざす学校像では、「1. 主体的な進路選択を支えるガイダンスの充実と、夢チャレンジを具体化する教育活動の展開」に変更します。

次のスライドでは、本校の学校経営計画の内容と「府立学校に対する指示事項」とが重なる部分を併記しております。グローバル社会に対応できる人材育成の項で、「問題発見・解決能力・論理的思考力の育成→すべての教科・科目等で、探究的な学びの充実」という内容が、新たに令和6年度から指示事項に入りましたので、それを来年度の学校経営計画の1(1)に追記しています。それから、府立高校の魅力づくりと効果的な情報発信の項で、「適切な教育課程の編成と魅力ある教育活動の展開」が重点項目に指定されていますので、本校の学校経営計画の3(1)に追記しています。さらに、防災教育の充実と安全・安心な教育環境の確保の項で、「地域との連携した取り組み」「実践的な避難訓練の実施」の指示があり、本校の学校経営計画にこの部分を加えました。

次に、今年度の学校評価で課題になった部分です。キャリア教育の充実、系統立てたキャリア教育の推進について、これまで、3年生に実施する総合学科アンケートの「選択科目における進路選択」の満足度を評価指標にしていたのですが、評価指標を変更します。自分が選択する科目と進路希望とを合致させるため、ガイダンスを一層充実させて早く自分の進路目標が立てられるようにしたいと考えています。ですので、キャリア教育の評価指標を「夢チャレンジ(総合的な探究の時間)で創意工夫ができる機会を持つことができた」に変えたいと思っています。

部活動については先ほど申しあげましたように、ホームページや ブログによって、校内の活動状況や成果をどんどん発信していくということで、部活動の魅力をアピールしていきたいと考えています。

以上のような形で、これまでのアンケートの分析結果をもとに、これからの対応・対策を盛り込む改正を行いたいと考えています。

【質疑応答(ご提言含む)】

《教頭より》

校長からの報告や資料について、みなさまからご意見を頂戴できたらと思います。

(学校運営協議会委員より)

中期的目標のI(1)アで記載されている「教材活用満足度」とは、どういうものでしょうか。大学でもICTを活用しているか、といった項目でアンケートをとることがあるので、気になりました。

→(校長)「ICTを活用するなど、適切な教材で授業の実施方法を工夫している」というアンケート項目からの判断となります。

(学校運営協議会委員より)

中期的目標のI(3)にある「学力生活実態調査」とはどのようなものですか。

(学校運営協議会委員より)

学力生活実態調査は、ベネッセの教材であるスタディーサポートを使用していますね。これは3教科の学習成績と学習状況に答えるアンケート調査をおこなっています。このスタディーサポートをみると、色々な項目が向上しているようにおもいます。その要因としてなにがあるのでしょうか。コロナが第5類に移行し、さまざまな制限が解除されていることも影響しているのでしょうか。

→(校長)ご指摘のようにコロナ禍から脱しつつあることも影響しているとおもいます。今までできなかった、体験実習などの校外にできる授業を実施できるようになった、などが好循環になっているのではないかと思います。

(学校運営協議会委員より)

授業アンケートというのは、どれくらいの回答数なのでしょう。ほぼ全員が回答した結果になりますか。

→(教頭)生徒については、ほぼ全員が回答した結果となります。

(学校運営協議会委員より)

母数が100%に近いのはすごいですね。そのうえで全生徒の回答で評価が高いのは良いと思います。

→(校長)保護者のアンケートの回収率は、そこまで高くはないので、今後の課題だと思います。

(学校運営協議会委員より)

部活動加入率はそこまで高くありませんね。コロナが第5類に移行したとはいえ、加入率についてはコロナ前には戻ってきていない感じでしょうか。

→(校長)3年生については途中で退部した生徒が一定数います。コロナ禍で十分な活動ができず、クラブを魅力的に感じる事ができないといったことが理由ではないか、と考えています。つづく1~2年生については、3年生という先輩が少なく、大人数で活動できていないため魅力的に感じない、という可能性はあります。ただ、1~2年生の入部率は回復してきているので新年度の1年生がたくさんはいてくることを願っています。

(学校運営協議会委員より)

人権意識の向上について、「担任以外に相談できる先生がいる」の項目の数値が高いですね。教職員研修のテーマをどのようにして決めているのですか。どのような具体的な取り組みがありますか。

→(首席)月に1回生徒支援委員会を開催しています。スクールカウンセラー、養護教諭、学年主任、当該学年の担当で、悩みを抱える生徒の情報を1人ずつ共有するという取り組みを行っています。結果としていい意味で月に1度のスクールカウンセラーの予約がいっぱいになっています。チームで生徒を見ていこう、という仕組みをもっていることが評価されているのではないかと思います。

→(人権推進委員長)教職員研修でもテーマとして、他校の人権担当者との情報交換を行い、いまだのようなことを知っておくべきかを情報交換し、担任の先生方との共有をおこなっています。また、保健室の隣に「ほっとコーナー」という名称で教育相談室をもうけています。保健室にくる生徒のなかで、保健室から「ほっとコーナー」につなぐ、ということも行っています。また、急に学校にいきにくくなった、という悩みを共有する仕組みをとっています。担任から生徒支援の担当へすぐ連絡をとり、「ほっとコーナー」にいったら?という声掛けもおこなっています。また「ほっとコーナー」なら登校しやすい、という生徒もいます。

(学校運営協議会委員より)

「ほっとコーナー」を利用する頻度が高まる時期というのがあるのでしょうか。

→(人権推進委員長)一概には言えませんが、テスト前に、テストをプレッシャーに感じて来室が増える傾向があるように思います。体育祭などの学校行事の前に、行事が負担だと感じて、どうぞせばいいかといった相談に来室することもあります。

(学校運営協議会委員より)

中期的目標の3(1)「キャリア教育の充実」についてお聞きします。学校教育自己診断アンケートの「将来の進路や、生き方について考える機会がある」の評価が90%以上であり、この数値は高いように思います。学年別でみた場合は、学年があがる毎に、評価数値があがる、ということはあるのでしょうか。

→(教頭)95%の内訳ですが、1年は95.9%、2年98.1%、3年90.5%となっています。1~2年生の数値が3年生の数値より高い結果となっています。キャリア教育を中心に展開している「総合的な探究の時間」は、1~2年次に2単位、3年次に1単位を実施しています。総合学科ですので、科目選択が希望する進路に直結することが理由だと思われる。

(学校運営協議会委員より)

ここでいう進路とは、大学進学のことですか、職業や生き方のことをさしていますか?

→(進路指導部長)1年生のうちは広く「職業について知る」をテーマにガイダンスを行っています。2年生になって「職業につくためにはどのような学問を選ぶか」、3年生になって、「どのような大学を選ぶか」をテーマに指導を行っています。また、近年は大学入試が前倒して実施され、また早いうちの入試を希望する生徒も多くなっています。ですので、2年生のうちに志望校を明確にしておかなければならない、という話を2年生にしています。3年生に取ったアンケートでも、2年生のうちに進学希望先を決めておけばよかった、という回答があります。低学年のうちに大学選択を考えることが重要になっていると感じています。

(学校運営協議会委員より)

科目選択は担任の先生が、おしえてくださるのでしょうか。

→(進路指導部長)ざっくりとした大枠は学年全体に進路集会やLHRなどで提示し、個々の職業や進学先の相談といったことは、懇談等の機会を通じて、担任や進路指導部の教員がおこなっています。

(学校運営協議会委員より)

3年生の息子を持つ保護者としての意見ですが、息子の学年ではコロナ禍で保護者向け説明会がなくなってしまったのが残念でした。先生の言われるままに科目を選択したという印象です。

→(教務部長)今年度はようやく保護者向け説明会を行うことができました。平時の場合には保護者向け科目選択説明会を毎年行っています。

(学校運営協議会委員より)

今年、久しぶりに同窓会を開くことができました。同窓会に関わるものとして、母校のことをどう思っているのか、母校愛といったようなことをアンケートではかることはできますか

→(校長)アンケートで母校愛を聞くということは難しいですが、卒業したときに、3年間この学校でよかったな、と思える環境づくりが大切だと思います。

→(教頭)本校卒業生を招いて、3年生を対象に「卒業生の話を聞く会」を毎年行っています。また教育実習でも、堺東高校の多くの卒業生が実習に来ます。卒業しても、堺東高校に関心を持ってもらっているという感覚があります。

→(首席)卒業生や在校生の妹・弟が入学してくるケースが多いと感じています。堺東高校をよく思ってくれていると感じています。

(学校運営協議会委員より)

自転車通学が多いように思います。交通事故も心配ですが、周辺の自転車道の整備はすすんでいますか。

→(校長)コロナ禍対策予算が優先され、自転車道については整備がすすんでいない、予算が回ってこないという現状があります。晴美台自治連合会とともに堺市へ陳情もしていかねばならないと感じています。

(学校運営協議会委員より)

自転車通学生はヘルメットをかぶってきていますか。

→(生徒指導部長)着用率は低いです。現段階ではヘルメット着用が努力義務とされているので、強制まではしていません。

(学校運営協議会委員より)

遅刻が多いように思います。遅刻理由が体調不良なのか、寝坊なのか、といったことは把握していますか。

→(生徒指導部長)登校してきたときに所定用紙に理由を書くように指導しています。遅刻の理由は、寝坊、通院など様々で、特別これ、といったものはありません。

→(校長)コロナ禍で社会情勢が変わり、またコロナが第5類に移行してさらに社会情勢が変わりました。相談室に来室が増えた、ということは今回ご報告させていただきましたが、遅刻が増加していることについても、こういった変化の中で、息苦しさを感ずる生徒がいるのではないかと感じています。

(学校運営協議会委員より)

ヤングケアラーの問題は、なにか把握されていることがありますか

→(首席)ヤングケアラーについての生徒情報を把握し、なにか困ったことはないか、辛いことはないか、などの聞き取りを行うようにしています。ホッとコーナーには教員が常駐しておりますので、困りごとのある生徒をできるだけ早く把握できるような体制づくりを行っていきたくと思っています。

→(校長)ヤングケアラーについては、大阪府教育委員会の指示により府立高校すべてで調査を実施しています。今年府で8割以上の回収率があり、大阪では生徒の10%以上が「世話をしている家族がいる」と答えています。本校の調査では府の平均に比べるとそれほど多くない、という結果になっています。

【事務連絡】

《教頭》

本日の議事は以上となります。

また、資料には、各学年や分掌からの報告をつけております。ご意見等ありましたら教頭までご連絡いただけたらと思います。来年度の日程は次第にもありますように、調整中でありまして、あらためてご連絡させていただきたいと思います。